

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由
 学芸学部国際教養学科には、2年次の秋学期から3年次の春学期に1年間の留学をするプログラムがあり、
 それを経験したうえで4年び卒業できるという他の大学ではあり見られない特徴があり、
 志望しました。

受験勉強の進め方【1学期】

まず、基礎を固めるために、国語では古文単語や、漢字の7-7、英語では英単語や英熟語、文法の確認をしました。
 特に単語の暗記は通学時間を活用し、勉強しました。1日に覚える量を定め、行き、家から学校までの道は英語、帰りの学校から家までの道は古文単語と分けて、1日で英語も古典もやるようにしていました。
 問題集は基礎問題が多く集められているものを、1回ではなく、繰り返し、何回も解き解説を隅々まで読みました。

受験勉強の進め方【夏休み】

2週間という短い夏休みを有効に使うために、まず過去問に一通り目を通しました。
 その後、出題傾向にあった問題を解きました。
 基礎を中心に少し応用問題も混ぜながら、問題集を進めていきました。
 英語の長文に慣れるために少しやさしい長文を1日2~3個は必ず読むようにしました。
 古典も同様に古文を1日1~2個は読むようにし、自分で原文から和訳し、添削をもらうこともしました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

夏休み後はインプットした知識をアウトプットするために、応用問題を中心に問題集を進めました。

過去5年分の過去問も解きました。

これにより、自分の苦手な所が明確になり、効率よく復習できました。また、本番の状況にならなく近づけるために、タイマーを使って時間をしっかり計りました。

入試直前は、単語帳を軽く見直したりする代わりに、知識を詰め込まずにできるようにしました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

勉強をする時としない時のオンとオフをいかに区別するために、夜寝る前は自分の好きなことをする時間を作り、通学時間や学校でスマホを使いきれないように、データ容量のプランを覚えることもしました。
 睡眠時間を確保するために、規則正しい生活も心がけました。

模試なども結果に囚われず、結果にも復習を大事にしました。

また、ご飯をお腹いっぱい食べると、眠くなってしまったり、腹が膨らんで、どうしても眠い時は30分程度の昼寝をとり、頭をスッキリさせました。

受験生のみなさんへ

受験勉強は長くつらいですが、友達と励まし合ったり、たまには息抜きをしてもいいと思います。努力を続ければきっと未来は拓けるはずです。また、親や周りの支えてくれる人たちに感謝の気持ちを伝えることもとても大切だと思います。自分の視野を広げ、持ち目標に向かって精一杯がんばってください。

